

Science Lectureship Award 2017

国際学術講演賞 講演会

CHIBA University, Faculty of SCIENCE



CHIBA
UNIVERSITY

千葉大学 理学部

講演者

Professor Masanobu Shishikura

国立研究開発法人
産業技術総合研究所
地質調査総合センター 活断層・火山研究部門
海溝型地震履歴研究グループ長

穴倉 正展 博士



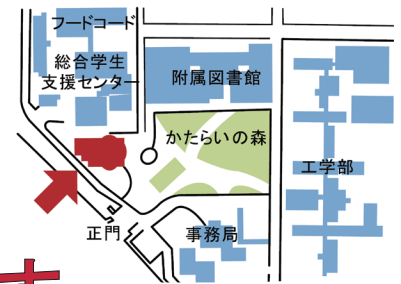
日時

2017年11月17日(金)

開場 14:30 講演会・授賞式 15:00~17:10

場所

千葉大学 けやき会館大ホール



題目

過去の巨大地震をほり起こす

講演者より

将来起こりうる事象を予測する上で大切なことは「過去を知る」ことです。今回の講演では、歴史記録や地形、地層に刻まれた過去の巨大地震の痕跡を読み解く「古地震学」について、国内はもちろん世界各地で調査してきた内容をお話します。私は千葉に生まれ、千葉に育ち、千葉大学で10年以上学んで、房総半島の地形と地震に関する研究で学位を取得しました。千葉の大地が地震無くしては生まれなかったことも紹介したいと思います。

講演者紹介

千葉大学理学部卒業、千葉大学大学院自然科学研究科に進学し、2000年に同大学院を修了、博士（理学）号を取得。その後、通商産業省工業技術院地質調査所通商産業省技官、独立行政法人産業技術総合研究所主任研究員を経て、現在、国立研究開発法人活断層・火山研究部門海溝型地震履歴研究グループ長、及び東京大学、名古屋大学客員教授、文部科学省地震調査研究推進本部長期評価部会・海溝型分科会委員を兼任。「日本海溝における巨大津波の復元方法の開発」によって、2012年度文部科学大臣表彰科学技術賞受賞。海溝型巨大地震研究の第一人者として東日本大震災を予測、懸念される次期南海トラフ巨大地震予測への提言を行っている。

この講演会は千葉大学理学部後援会の
支援（主催）によるものです。

問い合わせ先：千葉大学 理学部 学務係

☎: 043-290-2881

E-mail: iad2880@office.chiba-u.jp